

日刊産業新聞ホームページ
http://www.japanmetal.com/
E-mail sangyo@japanmetal.co.jp
携帯サイト QRコード
http://m.japanmetal.com/

発行所 産業新聞社
東京本社 東京都中央区新川1-16-14
TEL 03(5566)8770㈹ FAX 03(5566)8185
大阪本社 大阪市西区難波本町1-5-15
TEL 06(6443)8551㈹ FAX 06(6443)3828
アジア総局 上海市松江路85号 東方国際大厦C座1604室
上海支局 TEL 86-21-6278-7750 FAX 86-21-6278-7751

日刊

産業新聞

Japan Metal Bulletin

2013年(平成25年)

6月13日(木)

第18273号
Since 1936

日刊(土・日・祝日除く) ©産業新聞社2013年

国内支社局網

中部支社 名古屋市中区上前津1-4-12 TEL 052(331)3371
中国支社 広島市南区大須賀町14-12 TEL 082(263)5523
北海道支社 北海市北区七条西4-8-3 TEL 011(756)1321
福岡支社 福岡市博多区博多駅前4-14-1 TEL 092(472)3887
東北支社 仙台市青葉区大町1-1-8 TEL 022(223)9032
北越支社 新潟市中央区上大川前通7番町1235 TEL 026(229)4085

きょうの紙面

鉄鋼需要、初の6000万トン超へ
東南アジア主要6カ国の鉄鋼需要が2013年に初めて6000万トンを超える見込み。日本の主要輸出先として重要度はさらに高まっている。(3面)

鉄鋼需要、初の6000万トン超へ
欧洲委員会、鉄鋼業の支援を計画
鉄鋼商況
鉄鋼市中相場 LME-NYC相場 非鉄市中相場
外為TTS
(三菱UFJ銀行)
米ドル 97.46 ↑
ユーロ 129.95 ↑
ウォン 8.75 ↑
(参考値)
元 16.01 ↑
(参考値)
LME相場
(現地11日セントル、ドル)
銅 7036.0 ↓
アルミ 1848.5 ↓
ニッケル 14495.0 ↓
亜鉛 1833.0 ↓
錫 20600.0 ↓
鉄スクラップ総合価格
(円-7月調べ)
H2 21,400
新断ブレス 24,600
主要品種相場
(東京、ベースサイズ、円)
異形棒鋼 60,000
H形鋼 70,000
黒ガス管 135,000
熱延鋼板 58,000
厚板 72,000
バルチック海運指数
現地11日 825 ↑
WTI(原油先物(中心限月))
現地11日 95.38 ↓
18日引付の今年度販売を拡大・大日製缶(4面)
12面)

鉄鋼商況
鉄鋼市中相場 LME-NYC相場 非鉄市中相場
外為TTS
(三菱UFJ銀行)
米ドル 97.46 ↑
ユーロ 129.95 ↑
ウォン 8.75 ↑
(参考値)
元 16.01 ↑
(参考値)
LME相場
(現地11日セントル、ドル)
銅 7036.0 ↓
アルミ 1848.5 ↓
ニッケル 14495.0 ↓
亜鉛 1833.0 ↓
錫 20600.0 ↓
鉄スクラップ総合価格
(円-7月調べ)
H2 21,400
新断ブレス 24,600
主要品種相場
(東京、ベースサイズ、円)
異形棒鋼 60,000
H形鋼 70,000
黒ガス管 135,000
熱延鋼板 58,000
厚板 72,000
バルチック海運指数
現地11日 825 ↑
WTI(原油先物(中心限月))
現地11日 95.38 ↓

足元の経営課題

日本鉄鋼連盟など10団体は6月中にも政
府に対して電気料金の値上げに関する要望書
を提出する。日本産業・医療労連(山元康雄
会長)の事業部と、三井物産(山元・ウオ
ム洋会長)は足元の経営課題についての緊急要望書
を。

――前期は連結売上高
が16%減の1兆7439億円、
経常利益が13%減の150億円だったが、
今期の利益計画と手応え
から。

内は建設、製造業ともに
アベノミクス効果で好転
しており、消費税増税前
ではあるが数量回復の
期待ができる単月でもみ
ていている。円高修正で輸入
価格の高騰が進み、石炭
価格の下落で収益が悪化
している。二つ目が中国の
外石炭事業の収益改善。
対応をスムーズにする加工
会社が苦しんでいる。い
が、国内は6000万トント
化した。

――国内の体制を再強
化した。
が国内の厚板加工ビジネス
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。
――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているという側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の増
産で不安定な状況が続い
ているといふ側面はある
が、国内は6000万トント
化した。

規模の大きさマーケット
コストダウン、効率化、
CSのさらなる向上など
の改善策を急いでいる】

――国内の体制を再強
化した。

――海外市場が中国の

解説

業界動向
の変遷

売り上げ規模6000億円超

電炉再編の呼び水にも

建設鋼材・スクラップ統合へ

メタルワン建材・三井物産スチール

業界動向
の変遷

国内の冷鋳源と建材事

業で圧倒的な存在感を示すことになる。特に

これが大きな余波

へも

鉄スクラップ業界

も

可能性もある。

年4月三井物産スチ

ルが取引扱う鉄スチ

ルトップシェア争いを繰り広げてきた両社が統

合して、メタルワンか

日本では現在のメタルワ

ン建材日本本社が拠

立つことになる。

日本は全国に主細

な流通網が広が

ることになる。

関東大島山本章史

年10月にメタルワンか

日本冷鋳源、建材事業の

主要な競争相手として

現地で、メタルワンへの

影響などもあり、値

上げが大きくな

る可能性がある。

年1月にメタルワンか

日本冷鋳源、建材事業の

主要な競争相手として

現地で、メタルワンへの

影響などもあり、値

上げが大きくな

る可能性がある。



オグラン金属・本社工場

「金属加工のショッピングモール」

オグラン金属（本社）は、小倉勝興社長によると、日本自動車向けの自動車部品を製造する大型プレスで、現在、同社は、自動車部品の生産拡大に伴い、新工場を開設している。自動車部品や電気部品の販売も行っている。



「足利工場」で楽しみながら実践（工場内）⁽¹⁾ 自動車向けの重要保安部品を製造（大型プレス）

幅広い分野に部品供給

は、600社とトラン

Fri
钢管・建材・線材
二三次製品

Thu

鋼板・二三次製品・需要産業

Steel plate

Secondarily and tertiarily products

Demand industry

Wed
海外情報
AMMIリポートTue
電炉・スクラップ
技術・環境・エンジニアリングMon
特殊鋼・ステンレス
鍛鉄

鋼板ユーザーに聞く

オグラ金属の展望

初の海外生産工場稼働



高沢 保寿副社長

自動車部品製造などを手に行うオグラ金属（本社＝栃木県足利市、小倉勝興社長）は今月、初の海外生産拠点となるタイの新工場を稼働させる。1938年の創業以来、貫して国内生産を続けてきたが、旺盛な海外需要をとらえ、昨年4月に主要取引先の自動車部品大手ヨコズと合併で「ワイヤ・オグラオートモーティブタイランド」（YATOAT）を設立した。完成車メーカー（YATOAT）（次請け企業だけでなく、YATOATも積極的に海外に出向いており、国内のものづくりはどう変わるのである。営業生産部門を管掌する高沢保寿取締役副社長に今後の国内事業の方針などを聞いた。

—ティア1とティア2が組んで、海外拠点を立ち上げるのは珍しいケースだが、設立に至った経緯は。

—自動車メーカーさんもいや、安心して世界各地に進出していなければならなくなっているが、急速な拡大に

ある。こうした課題を解消するため、人材は当社から派遣し、出資は大半をヨコズさんが行なうか

—YATOATの概要

—海外事業は成長が

見込まれる一方、国内は空洞化が進む。展望は描

—海外事業は成長が

見込まれる一方、国内は

空洞化が進む。展望は描

提案営業 新規開拓に注力

—YATOATの概要

—海外事業は成長が

見込まれる一方、国内は

空洞化が進む。展望は描

クオータリーでつげん 2013一春①

日本鉄源協会

特集記事1

2012年(平成24年)7—9月、10—12月鉄源流通量調査結果
国内各地域の事業所を対象に、2012年(平成24年)7—9月、10—12月における鉄スクラップ流通量を調査しました。その調査結果を、以下の通り地域別・品種別にご報告致します。

1. 調査概要

(1) 調査対象

・高炉・特殊鋼電炉、普通鋼電炉、鍛錬鋼等、各メーカー事業所(鉄物メーカーを除く)

・炭素鋼スクラップ

(2) 調査対象期間

2012年(平成24年)7—9月、10—12月(各3カ月合計)

(3) 対象数及び回収数

全国91事業所に調査票を配布し、全数の回答を得た。

(4) 対象地域区分

北海道: 全域

東北: 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

関東: 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨

北陸: 富山、石川、福井、新潟

東海: 岐阜、静岡、愛知、三重、長野

近畿: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中四国: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

その他: 解体船、JR払い下げ等

(5) 輸出量

輸出量は、財務省の税關別通關統計における切削・打抜スクラップ(7204.41万t)と、その他スクラップ(7204.49.100、7204.49.90)の合計である。

図表1 主要指標推移

単位: 1,000M.t

	2011年		2012年					
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年計	
スクリップ内	購入量	6,127	6,296	6,122	6,404	5,726	5,632	23,884
	域内調達量	5,027	5,224	5,209	5,511	5,024	5,000	20,745
	(域内調達率)	82.0	83.0	85.1	86.1	87.7	88.8	86.9
スクリップ	域外調達量	1,100	1,073	913	892	702	632	3,139
	輸出量	1,292	1,652	1,898	2,076	2,060	2,371	8,405
	国内スクラップ出荷量 ¹⁾	7,419	7,948	8,020	8,480	7,786	8,003	32,289
転炉	粗鋼生産量	21,069	20,016	20,142	20,766	21,390	20,010	82,307
	(スクラップ配合比率)	12.3	10.3	10.2	11.1	10.6	10.0	10.5
電炉	粗鋼生産量	5,881	6,563	6,424	6,732	5,870	5,899	24,925
	(スクラップ配合比率)	98.7	98.7	98.8	98.9	99.1	99.0	98.9

* 対象は全て炭素鋼スクラップのみ

1) 国内スクラップ出荷量=購入量+輸出量

2. 調査結果

(1) 主要指標

鉄スクラップの国内購入量、輸出量、出荷量(購入量+輸出量)、炉別の粗鋼生産量を図表1に示した。

7—9月の国内購入量は572.6万tとなり、対前期では67.8万t減、対前年同期では40.1万t減と、いずれも減少した。域内調達量は、対前年同期0.3万t減の502.4万t、輸出量は、同76.9万t増の206.0万tとなっている。

10—12月の国内購入量は563.2万tとなり、対前期では9.4万t減、対前年同期では66.4万t減と、ともに減少している。域内調達量は、対前年同期22.3万t減の500.0万t、輸出量は、同71.9万t増の237.1万tとなった。

(2) 調査結果概要

対前年同期との比較を図表2-1に示した。

なお、各調査結果には、2011年3月11日に発生した東日本大震災による影響が表れていることを留意する必要がある。

7—9月は、電炉粗鋼生産量が1.1万t(前年同期比0.2%)減、国内購入量が40.1万t(同6.5%)減となった。また、輸出量は76.9万t(前年同期比59.5%)増となり、出荷量の合計は36.8万t(同5.0%)増となつた。域内調達量は0.3万t(前年同期比0.1%)減、域外調達量は39.8万t(同36.2%)減であった。

10—12月は、電炉粗鋼生産量が66.4万t(前年同期比10.1%)減となり、国内購入量が66.4万t(同10.5%)減と前年同期を下回った。また、輸出量は71.9万t(前年同期比43.5%)増と5期連続で前年同期を上回り、出荷量の合計は5.5万t(同0.7%)増となつた。域内

調達量は22.3万t(前年同期比4.3%)減、域外調達量は44.1万t(同41.1%)減であった。

なお、図表2-1における矢印表示は、以下の通りである。

- ・前年同期比 +5.0%以上…↗
- ・同 -5.0%以下…↘
- ・同 -5.0%超+5.0%未満…→



前年同期と比較すると、東北16.5万t(前年同期比189.4%)増、北海道1.6万t(同9.6%)増の2地域以外は減少しており、中四国26.2万t(同26.6%減)、関東22.9万t(同15.2%)減、九州4.5万t(同7.9%)減、近畿2.3万t(同1.6%)減、東海1.8万t(同1.7%)減、北陸0.4万t(同1.4%)減となつた。また、西送り対象地域である近畿・中四国・九州の購入量合計は33.1万t減少した。

10—12月の購入量合計は563.2万tであり、これを地域別に見ると、北海道15.0万t(構成比2.7%)、東北29.1万t(同5.2%)、関東137.3万t(同24.4%)、北陸25.8万t(同4.6%)、東海94.2万t(同16.7%)、近畿145.5万t(同25.8%)、中四国71.7万t(同12.7%)、九州44.5万t(同7.9%)となつてゐる。

前年同期と比較すると、東北8.0万t(前年同期比37.6%)増を除いた各地域で減少しており、近畿26.4万t(同15.4%)減、東海16.4万t(同14.8%)減、関東15.8万t(同10.3%)減、九州9.6万t(同17.8%)減、北陸2.4万t(同8.6%)減、中四国2.1万t(同2.9%)減、北海道1.6万t(同9.5%)減となつた。また、近畿・中四国・九州の購入量合計は38.1万t減少した。

2) 地域別域内調達率

地域別の域内調達率を図表6に示した。

7—9月の域内調達量の合計は、対前年同期0.3万t減の502.4万tとなつた。

(3) 地域別調査結果

1) 地域別購入量

地域別の購入量を図表5に示した。

7—9月の購入量合計は572.6万tであり、これを地域別に見ると、北海道18.5万t(構成比3.2%)、東北25.2万t(同4.4%)、関東127.7万t(同22.3%)、北陸26.0万t(同4.5%)、東海102.3万t(同17.9%)、近畿147.8万t(同25.8%)、中四国72.2万t(同12.6%)、九州52.9万t(同9.2%)となつてゐる。

図表5 期別地域別購入量推移

前年同期と比較すると、北海道1.6万t(同9.6%)増の2地域以外は減少しており、中四国26.2万t(同26.6%減)、関東22.9万t(同15.2%)減、九州4.5万t(同7.9%)減、近畿2.3万t(同1.6%)減、東海1.8万t(同1.7%)減、北陸0.4万t(同1.4%)減となつた。また、西送り対象地域である近畿・中四国・九州の購入量合計は33.1万t減少した。

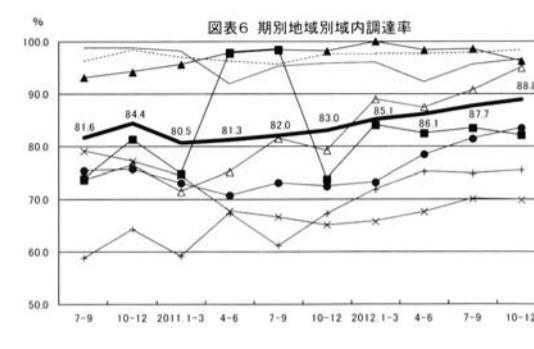
10—12月は、北海道15.0万t(構成比2.7%)、東北29.1万t(同5.2%)、関東137.3万t(同24.4%)、北陸25.8万t(同4.6%)、東海94.2万t(同16.7%)、近畿145.5万t(同25.8%)、中四国71.7万t(同12.7%)、九州44.5万t(同7.9%)となつてゐる。

前年同期と比較すると、東北8.0万t(前年同期比37.6%)増を除いた各地域で減少しており、近畿26.4万t(同15.4%)減、東海16.4万t(同14.8%)減、関東15.8万t(同10.3%)減、九州9.6万t(同17.8%)減、北陸2.4万t(同8.6%)減、中四国2.1万t(同2.9%)減、北海道1.6万t(同9.5%)減となつた。また、近畿・中四国・九州の購入量合計は38.1万t減少した。

2) 地域別域内調達率

地域別の域内調達率を図表6に示した。

7—9月の域内調達量の合計は、対前年同期0.3万t減の502.4万tとなつた。



となり、域内調達率は87.7%と前期から1.7%上昇した。地域別に見ると、域内調達率の全国平均値(域内調達率87.7%)を上回った地域は、北海道18.3万t(域内調達率98.6%)、関東124.8万t(同97.8%)、東海97.7万t(同95.5%)、九州48.0万t(同90.7%)の4地域であった。また、平均値を下回った地域は、東北21.0万t(域内調達率83.4%)、近畿120.3万t(同81.4%)、中四国54.1万t(同74.8%)、北陸18.2万t(同70.1%)となっている。

10—12月の域内調達量の合計は、対前年同期22.3万t減の500.0万tとなり、域内調達率は88.8%と前期から1.0%上昇した。地域別に見ると、域内調達率の全国平均値(域内調達率88.8%)を上回った地域は、関東134.9万t(域内調達率98.3%)、東海91.0万t(同96.6%)、北海道14.4万t(同96.2%)、九州42.2万t(同94.9%)の4地域であった。また、平均値を下回った地域は、近畿121.4万t(域内調達率83.4%)、東北23.9万t(同82.1%)、中四国54.1万t(同75.5%)、北陸18.0万t(同69.8%)となつた。

3) 地域別出荷量

期別の出荷量と輸出量、輸出比率を図表9に、地域別の出荷量を図表10に示した。これは各地域の供給量を表しており、輸出比率は、輸出量を出荷量の合計(国内出

鉄鋼市中相場

2013年6月12日調べ、問屋置き場仲値ベース(○印は上げ▼は下げ、単位:円/トン、Nはノミナル) *いずれも本体価格のみ

棒鋼										形鋼									
東京 大阪 名古屋 広島 福岡 仙台 札幌										東京 大阪 名古屋 広島 福岡 仙台 札幌									
△異形棒鋼 SD295(在庫)										△H形鋼 (広幅)									
10	68000	68000	72000	69000	70000	70000	77000	6/8×100×100	73000	74000	74000	74000	74000	80000	8/12×200×200	71000	72000	72000	72000
13	66000	66000	70000	67000	68000	75000		12/19×350×350	73000	74000	74000	74000	74000	81000	(中幅)				
16-25	64000	64000	68000	65000	65000	65000	73000	6/9×148×100	70000	72000	72000	72000	72000	80000	9/14×340×250	72000	74000	74000	80000
SD295(直送)								10/16×390×300	72000	74000	74000	74000	74000	80000	12/20×588×300	75000	77000	77000	77000
10	64000	61000	62000	61000	65000	64000	64000	5/7×100×50	86000	92000	92000	95000	92000	99000	6/8×125×60	84000	89000	90000	96000
13	62000	59000	60000	59000	62000	62000		5/7×150×75	72000	74000	74000	74000	74000	82000	5.5/8×200×100	70000	72000	72000	80000
16-25	60000	57000	58000	57000	60000	60000		8/13×400×200	70000	72000	72000	72000	72000	80000	11/17×600×200	75000	77000	77000	77000
SD345(直送)								11/17×600×200	75000	77000	77000	77000	77000	85000	△丸鋼(SR235、フレーン)				
10	61000	58000	59000	58000	61000	61000		5/7×100×50	86000	92000	92000	95000	92000	99000	6/8×125×60	84000	89000	90000	96000
13	63000	61000	62000	61000	64000	63000		5/7×150×75	72000	74000	74000	74000	74000	82000	5.5/8×200×100	70000	72000	72000	80000
16-25	62000	60000	61000	60000	63000	62000		8/13×400×200	70000	72000	72000	72000	72000	80000	△構造用棒鋼				
SD295(在庫)								11/17×600×200	75000	77000	77000	77000	77000	85000	△等辺山形鋼				
13	117000	102000	117000	117000	124000	117000	118000	3×25	84000	84000	82000	83000	87000	85000	92000	3×30	81000	82000	80000
16-25	111000	100000	115000	115000	122000	111000	116000	3×40	78000	79000	77000	78000	82000	79000	87000	5×40	75000	77000	77000
28	113000	101000	117000	116000	124000	113000	118000	4×50	73000	75000	73000	74000	78000	74000	83000	6×50	71000	72000	72000
△平鋼								10×50	71000	74000	72000	73000	77000	72000	82000	9×50	76000	77000	77000
6×32	88000	76000	77000	77000	91000	85000	92000	10×90	76000	79000	78000	81000	77000	86000	△角鋼				
6×50、9×100	86000	74000	75000	74000	89000	83000	92000	9×130	81000	84000	84000	86000	90000	87000	11/130	100000	100000	100000	100000
16×50	89000	77000	77000	79000	92000	86000	95000	12×90×150	100000	100000	114000	108000	112000	108000	114000	12×90×150	100000	100000	100000
9×200	88000	81000	81000	95000	85000	97000		△不等辺山形鋼	100000	100000	114000	108000	112000	108000	114000	△溝形鋼			
△角鋼								5×50×100	73000	74000	72000	74000	78000	76000	82000	6.5×75×150	72000	73000	73000
16	113000	104000	110000	110000	118000	115000	127000	13×100×380	77000	79000	77000	81000	88000	85000	86000	13×100×380	77000	79000	79000
25	112000	102000	108000	108000	118000	113000	129000	5.5×75×125	121000	120000	121000	122000	130000	130000	135000	7×100×200	102000	90000	95000
50	113000	105000	111000	113000	121000	115000	131000	7×75×100,10×75×125	100000	100000	114000	108000	112000	112000	114000	△大径角形鋼管(切断、開先加工込み)			
△パイプ								△I形鋼	121000	120000	121000	122000	130000	130000	135000	5.5×75×125	121000	120000	121000
△黒ガス管(高炉品、ねじ無し、キロ)								7×100×200	102000	90000	93000	95000	105000	105000	117000	△大径角形鋼管(切断、開先加工込み)			
15A(1/2寸)	145	150	150	160	150	150	150	5×50×100	73000	74000	72000	74000	78000	76000	82000	6.5×75×150	72000	73000	73000
50A(2寸)	135	140	140	150	140	140	140	8×90×200	73000	73000	71000	73000	77000	74000	81000	9×90×250	74000	74000	74000
150A(6寸)	140	145	145	155	145	145	145	9×90×300	75000	77000	75000	79000	83000	78000	84000	9×90×300	75000	77000	77000
△黒ガス管(非高炉品、キロ)								13×100×380	77000	79000	77000	81000	88000	85000	86000	△不等辺山形鋼			
15A(1/2寸)	110	135	130	140	135	135	150	13×100×380	77000	79000	77000	81000	88000	85000	86000	13×100×380	77000	79000	79000
50A(2寸)	105	125	125	130	125	130	140	13×100×380	77000	79000	77000	81000	88000	85000	86000	13×100×380	77000	79000	79000
150A(6寸)	110	130	130	135	130	135	145	13×100×380	77000	79000	77000	81000	88000	85000	86000	13×100×380	77000	79000	79000
△白ガス管(高炉品、ねじ付き、ビース建て、キロ)								5.5×75×125	121000	120000	121000	122000	130000	130000	135000	7×100×200	102000	90000	95000
15A(1/2寸)	1728	1420	1440																

実際に、日本は以前にもモンゴルのエネルギー分野に進出している。2009年12月21日、フランス原発大手のアレヴァがモンゴル招き入れ、三菱商事が地質調査費用おおよそワラント金山プロジェクトの34%を負担するかわりに、ウラン鉱山権益の34%を日本企業はこれによつて正式にモンゴルの手に入れている。三三菱商事が入ったタイミングで、三三菱鉱業分野に入り込み、三三菱商事が入ったタイミングで、三

【新華社】資源小国「日本の資源争奪戦」の動きが特に注目される。先ごろモンゴルを訪問した安倍首相は、「鉱物資源が豊富なモンゴルの強みもあり、資源分野における両国の連携をさらに推進していく」と表明した。環球財経が伝えた。

日本が攻勢、連携強化

【新華社】資源小国「日本の資源争奪戦」の動きが特に注目される。先ごろモンゴルを訪問した安倍首相は、「鉱物資源が豊富なモンゴルの強みもあり、資源分野における両国の連携をさらに推進していく」と表明した。環球財経が伝えた。

鉱業法改正案 国会に提出 エクアドル政府

京に赴き麻生太郎元首相と会談し、モンゴルのウラン鉱開発に連携することで合意した。モンゴルがウラン鉱開発を急いでいる中、日本企業はまだ最適な時機を持つだけだった。事態が明るくなつた。

月21日、モンゴルのアレバウラモンゴルのウラン鉱で、モンゴルでウラン鉱はモンゴルでウラン鉱に手を出している日本企業は、モンゴルでウラン鉱の権益を賣り取つた一部。モナダカーブン・リゾートはモニゴルでウラン鉱の探査に力を入れている。カナダカーブン・リゾートはモニゴルでウラン鉱の投資環境は勘察できることをうれしく思っている。モニゴル鉱業資源シスチ趣意書に調印した。ドナルド(東方ウラン鉱マップ)といふ。

(吉爾班布拉格)といふ。

http://www.japanmetal.com

日刊産業新聞子版

国際相場動向

International Market Trends

銅が続落 NY金は3週間ぶり安値

■銅=直物は109.00ドル安の7022.00ドル、3カ月物は108.00ドル安の7056.00ドル。カーブ取引は97.00ドル安の7065.00ドルと続落した。スタンダード・チャータードのスミス氏は銅に関し、「短期的には一段安もある」と語った。

■鉛=直物は23.50ドル安の2108.50ドル、3カ月物は22.50ドル安の2121.50ドル。カーブ取引は46.00ドル安の2117.00ドルで終了した。

■亜鉛=直物は28.50ドル安の1824.00ドル、3カ月物も28.50ドル安の1859.00ドル。カーブ取引は37.00ドル安の1852.00ドル。

■錫=直物は285.00ドル安の2万505.00ドル、3カ月物も275.00ドル安の2万575.00ドル。カーブ取引は375.00ドル安の2万525.00ドルで取引を終えた。

■アルミニウム=直物は38.00ドル安の1852.50

月限は4.60ドル安の319.50ドルで引けた。中国の需要減退懸念や米金融緩和縮小観測に圧迫された。(ロイターE S時事)

貴金属概況

■銅=4営業日続落。7月限は4.60ドル安の319.50ドルで引けた。中国の需要減退懸念や米金融緩和縮小観測に圧迫された。(ロイターE S時事)

■ロンドン金=反落、1ダラット=1376.095ドルと、前日終値比7.35ドル安で引けた。日銀はこの日の金融政策決定会合で、市場が期待していた資金供給オペレーションの延長を見送った。これに市場が「失望した」(市場筋)格好となり、金塊相場も序盤から売り込まれる展開となった。

金塊は、1384.275ドルで寄り付いたあと、午前は1369.50ドルで値決めされた。午後の値決めは1374.255ドル。(ロンドン時事)

■N Y銀=反落。先物7月限は27.9ダラット(1.3%)安の2164.6ダラットで取引を終えた。現物は米東部時間午後3時4分時点での20.0ダラット(0.9%)安の2171.0ダラット。(ロイターE S時事)

■N Y白金=白金7月限は反落し、前日終値比27.00ダラット安の1ダラット=1479.90ダラットで取引を終えた。パラジウム9月限も反落し、16.90ダラット安の752.50ダラットで取引を終えた。(ニューヨーク時事)

ただ、外為市場は対ユーロでドル安が進行。このため、ドル建ての金相場は相対的な割安感から買い支えられ、下げ幅は限定的だった。

金塊現物相場は午後1時41分現在、6.770ダラット安の1380.175ダラット。(ニューヨーク時事)

■ロンドン金=反落、1ダラット=1376.095ドルと、前日終値比7.35ドル安で引けた。

日銀はこの日の金融政策決定会合で、

市場が期待していた資金供給オペレーションの延長を見送った。これに市場が「失望した」(市場筋)格好となり、金塊相場も序盤から売り込まれる展開となった。

金塊は、1384.275ドルで寄り付いたあと、午前は1369.50ドルで値決めされた。午後の値決めは1374.255ドル。(ロンドン時事)

■N Y銀=反落。先物7月限は27.9ダラット(1.3%)安の2164.6ダラットで取引を終えた。現物は米東部時間午後3時4分時点での20.0ダラット(0.9%)安の2171.0ダラット。(ロイターE S時事)

■N Y白金=白金7月限は反落し、前日終値比27.00ダラット安の1ダラット=1479.90ダラットで取引を終えた。パラジウム9月限も反落し、16.90ダラット安の752.50ダラットで取引を終えた。(ニューヨーク時事)

ただ、外為市場は対ユーロでドル安が

さらに、中国が端午節に伴う連休のため休場だったことから、現物需要が軟調。主要消費国インドで、同国通貨ルピーが対ドルで過去最安値を更新したことを受け現物需要が鈍るとみられていることも、相場を下押しした。

さらに、中国が端午節に伴う連休のため休場だったことから、現物需要が軟調。

主要消費国インドで、同国通貨ルピーが対ドルで過去最安値を更新したことを受け現物需要が鈍るとみられていることも、相場を下押しした。

</div

